

NPO等と真鶴町が連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業に関する 選考委員会審査結果について

NPO等と真鶴町が連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業の補助金交付対象者について、次のとおり特定しました。

1 事業名

NPO等と真鶴町が連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業

2 事業内容

本事業は、国の「NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業」に町が採択されたものであり、NPO法人等の民間団体が創意工夫して行う居場所づくりや子ども・若者の可能性を引き出す取り組みへの効果的な支援方法等の検証に資する事業です。

民間で取り組む居場所づくり（新規整備、既存事業の改善・強化・活性化等）や、全児童対策事業等の行政が推進する施策との連携事業等に対して補助金を交付し、採択された事業を実施する中で、こどもの居場所づくりに必要な支援策を検証します。

3 公募期間

2025年8月1日（金）～9月8日（月）

4 選考委員会開催日

2025年9月17日（水）

5 選考事業者（応募者）

一般社団法人真鶴未来塾、一般社団法人月と海、
一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパン、一般社団法人地域間交流支援機構

6 選考委員

副町長、参事特命担当、教育課長、保険福祉課長、都市計画課長

7 審査結果

応募者は4者であり、事業提案書等及びプレゼンテーション内容の審査を行ったところ、下記の法人を補助金交付対象者として特定しました。

社名	提案名	選定理由（評価点）
一般社団法人 真鶴未来塾	自分の「居場所」は自分で決める！ ～放課後まなづる探検隊～・ ～よりみちコミック（仮称）～	本事業の趣旨と合致しており、町の中にいくつもの安心できる選択肢をつくり、こどもたちが居場所を決める環境づくりを目指している。また、町民や町内事業者との連携があり、共感の輪、取り組みの広がりがある提案となっている。
一般社団法人 月と海	助産院を活用して、 いのちを学べる子どもの居場所作り！	本事業の趣旨と合致しており、助産院を拠点とした命の尊さ等にふれ学ぶこともできる居場所づくりとして、これまでにない新規性・独自性のある提案となっている。また、こどもの居場所が少ない地域における立地性も評価できた。
一般社団法人 エディブル・スクール ヤード・ジヤパン	子どもたちの生きる力を育む サードプレイスの創出 ～まな小の食べられる校庭に集まれ！～	本事業の趣旨と合致しており、学校、PTA、保護者（学校菜園サポーター）や関係人口等、事業を遂行するための実行体制が取れ、地域や住民と連携が図れる体制となっている。学校菜園という新規性・独自性も評価できた。
一般社団法人 地域間交流支 援機構	岩地区の暮らしと資源（井戸と海）を 体験できる子供の居場所作り	本事業の趣旨と合致しており、事業を遂行するために知見や経験を有しているとともに、一過性のものではなく、次年度以降への継続性が高い提案となっている。また、こどもの居場所が少ない地域における立地性も評価できた。